

元気です。厚高

進路指導

今年度の進路指導の状況をお知らせします。

今年度の卒業予定者は男子十六人、女子十三人の計二十九人で、そのうち十五人が進学希望、十四人が就職希望でした。

全員が就職内定

道内の求人情報を見てみると、昨年から引き続き厳しい状況が続いているといえます。都市部の景気上昇の波はまだ北海道までは影響していないようです。特に本校は地元企業での採用を目指す生徒が多く、希望職種で内定をもらうことは並大抵のことではありません。しかも、これまで求人数が多かった有力な地元企業も採用数の縮小に踏み切るなど、昨年のデータから見通しを立てることも難しい状況となっていました。

そうした中、やはり早い段階から準備を始めた生徒が結果を出すことができました。六月の求人票公開の時点で受験先の企業を確定し、九月の解禁に向けて、その企

業に的を絞った面接練習や作文練習を始めていたのです。この結果解禁直後に内定をもらう生徒が数名おり、九月の時点で出遅れた生徒の意識も高めたように思います。

また、例年より早く行われた就職促進会でも、熱意は現れていました。苫小牧市内や近郊から百人

を越す生徒が集まる中、ひととき大きな声で礼儀正しく振る舞っている本校の生徒は、促進会でも着実に結果を出していきました。

厳しい状況の中全員が内定を勝ち得たのは、最後まで諦めずに決めようという意識が生徒達にあったからだといえます。冬になると求人数は激減しましたが、それで

高い合格進学率

も根気よく取り組んだ結果、一月の朗報に結びついたのでしょうか。

今年度は全員が推薦での進学を希望していました。就職に比べて進学事情、特に専門学校の受け入れ事情は生徒数の減少により、年々平易になっていく傾向があります。それでも医療、看護、福祉といった人気のある分野はまだ高倍率が続いていますので、油断は禁物です。

今年の三年生は例年に比べ、熱心に体験入学やオープンキャンパスに参加した生徒が多く、入試前に志望校へのイメージを明確に持つことができました。また、こうした取り組みに参加すると、志望校の担当者に自分のことを覚えてもらううえメリットもあります。

厳しい戦いが予想された医療の分野でも、理学療法士、看護師の学科へそれぞれ一人ずつ合格することができました。二年時から模試に臨み、着実に努力を重ねた結果が実を結んだのでしょうか。進学は十一月の時点で全員が合格の切符を手に入れました。

このように、今年度は二十九人全員が進路決定を実現しました。それが大きな志を胸に、羽ばたいてほしいものです。

就職先一覧			
就職先	所在地	就職先	所在地
トヨタ自動車北海道㈱	苫小牧	丹野工業㈱	苫小牧
會澤コンクリート㈱	〃	苫小牧清掃協同組合	〃
植苗カントリークラブ	〃	(有)ジェイエイサービス	厚真
中予精工㈱	〃	メルシャンフード㈱	苫小牧
㈱第一滝本本館	登別	㈱三星	〃
(有)ライトマインド	苫小牧	カラカミ観光㈱	札幌

進学先一覧			
	学校名	受験方法	所在地
4年制大学	北海道文教大学	指定校推薦	恵庭
	北海道文教大学短期大学部	一般推薦	札幌
短期大学	帯広大谷短期大学	〃	帯広
	北海道介護福祉学校	〃	栗山
専門学校	専門学校北海道体育大学校	AQ、一般推薦	札幌
	札幌福祉専門学校	一般推薦	〃
	苫小牧美容専門学校	〃	苫小牧
	札幌医療秘書福祉専門学校	〃	札幌
	千歳リハビリテーション専門学校	〃	千歳
	函館医療看護専門学校	〃	函館
	札幌科学技術専門学校	〃	札幌

学校行事スナップ



1年宿泊研修【2007.8.27～29、新冠町日高判官館青年の家】カヌー体験やウォークラリー、野外炊飯などを体験し、生徒たちは貴重な思い出となる3日間を過ごしました。



2年見学旅行【2007.10.15～19】奈良、京都、東京を見学。写真は、東京ディズニーランド。

部活動の紹介

部活動	活 動 紹 介
写真部	<p>平成19年度高文連写真全道大会が、10月17、18日の2日間、稚内総合文化センターを会場にして開催され、全道から370人の生徒と408点の作品の参加がありました。本校からは、地区大会で優秀賞を獲得した3年生の宮本友美さんが昨年に引き続き、「兄妹におこった悲劇」という作品をもって参加しました。1日目は出品作品の講評をうけた後、昼から撮影会に参加しました。風が強くて寒いわいにくの天候でしたが、頑張って撮影しました。2日目は自然写真家である寺沢孝毅氏の「写真に写るのはあなた自身の心」という講演を聞きました。なお、出品作品は佳作に選ばれました。とても有意義な2日間だったと思います。</p> 
バドミントン部	 <p>本校のバドミントン部は小規模校でありながら、そのハンデをものともせず、苫小牧地区で数々の入賞しております。中学時代に実績のない者や高校から始めた者でも入賞を果たしています。勝負にもこだわりますが、バドミントンの上手い下手にかかわらず、チーム一丸となってほかのプレーヤーを応援することもモットーとし、厚高バドミントン部員に属する者全員が他校に負けない誇りを持って活動をしています。</p>
ESS同好会	<p>ESSでは、10月下旬に行われた町のハロウィンパーティーのお手伝いをしました。ほかの地域のALTの先生方やたくさん子どもたちと触れ合うことができ、とてもよい経験になったと思います。3年生は12月で引退し、現在は2年生2人のみで活動しています。毎週月・水曜日の放課後、ALTの先生と一緒に英語で会話をしながら、主に英語のゲームやトランプゲームをしました。2月6日(水)に行われた3年生のお別れパーティーでは、ALTの先生のアドバイスのもと、全員でピザとタコスを作り、おいしくいただきながら映画鑑賞をしました。英語を楽しみながら外国の食文化にも触れることができ、部員たちも楽しいひとときを過ごしたようです。</p> 
ボランティア部	 <p>厚真高校は平成19年度高文連苫小牧支部ボランティア大会の当番校でした。昨年の10月31日に苫小牧地区各地の学校からボランティア部の生徒が厚真町総合福祉センターに集まり、研修と交流を深めました。大会の実施にあたり、厚真町役場、赤十字厚真町分区、社会福祉協議会、厚真福祉会、町在住の講師の協力のもと、講演、災害時の炊き出し体験、AED心肺蘇生法、家庭看護法、点字、手話の4分科会研修、交流会、実践報告が行われました。厚真高校ボランティア部の生徒は、部長の加藤くん、副部長の古本さんをはじめ、当番校の生徒としてはりきって運営に当たりました。参加した生徒からは口々にさまざまな体験ができて良かった、これからのボランティア活動に生かしたいとの声が聞かれました。</p>
テニス部	<p>3年生の引退により1・2年生が活動を担うことになりましたが、技術的に未熟であったことと審判としての実力がついていなかったこともあり、秋の新人戦には出場しませんでした。現在は1年生を中心に練習を重ねているところです。高校入学後始めた1年生部員も上達し、テニスを楽しめるレベルにまで来たところです。簡単そうに見えるテニスですが、実際に打ってみると球がラケットに当たらなかったり、思った方向に飛ばないなど難しいものです。テニスの専門家がない環境の中での手探りの練習の日々ですが、1年生も打ち合いが上手につながるようになり、鋭い打球も飛ぶようになりました。この先の上達が楽しみなところです。</p> 
自然科学同好会	 <p>2007年春に自然科学同好会は発足しました。当初3人でスタートしたこの同好会も、現在は4人で活動を行っています。現在のテーマは氷河時代の環境を復元することです。野外で採取したローム層サンプルの乾燥密度・鉱物組成・粒度分析を行い、そのデータに基づいて4万2000年前から1万6000年前までの最終氷河期の最も寒かったといわれる時代の石狩低地南部の古環境の復元を目指して作業を進めています。現在までの成果として、世界的な気候変化に同調して石狩低地南部でも気候が変化していたということが分かってきました。これまでの成果は2007年9月に札幌で開催された日本地質学会と、10月に室蘭で開催された北海道高等学校文化連盟理科研究発表大会で発表しました。今後はさらに分析手法を増やして精度を高め、成果を公表していく予定です。</p>
野球部	<p>野球部は昨年6月26日の地区予選敗退後、新チームとして始動しました。今年度は町内で夏合宿を行い、練習の質と量を追求しながら個人とチームの力をアップさせていきました。その成果もあってか、9月に行われた新人戦では、登別青嶺高校を相手に7対4で2年ぶりとなる公式戦勝利をあげることができました。現在は新しいシーズンに向けて体力アップ、基礎技術の定着を目指して毎日練習に励んでいます。次の目標は全道大会出場です。応援よろしくをお願いします。</p> 
美術部	 <p>今年度の美術部は、3年生5人、2年生5人の計10人で活動してきました。高文連の大会参加など外部への出展は実現できませんでしたが、厚高祭での作品展示は例年通り行いました。今年度はボードの展示以外に、団扇(うちわ)の作成に挑戦したいとの3年生の発案で準備を始めました。実際取りかかってみると、和紙へ絵の具を乗せることや団扇の骨組みへの貼り付けが難しく、苦戦しました。学校祭後はそれぞれ自主製作を行っていますが、専門学校の先生を招いてのイラスト講習会も行いました。構図の取り方などの入門編でしたが、専門的な内容に触れることができました。3年生が卒業し、2年生のみの活動になりそうでしたが、2月になり4人の1年生が入部しました。今は、新1年生の仲間を募集するため、全員でポスター作りを行っています。</p>